

# なんたん

No. **18**

農業委員会だより

平成24年 8 月号



**夏本番!**



ごあいさつ	2
農業委員の紹介	3
地域農業を支える	4
食と農業 その7	5
担当地区一覧	6
新任委員一言アピール	7
平成24年度活動方針	7
なんたんあっちこっち ほか	8

発行 南丹市農業委員会

編集 南丹市農業委員会広報委員会

TEL.0771-68-0067 FAX.0771-63-0654

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

E-mail: [co-nougyou@city.nantan.kyoto.jp](mailto:co-nougyou@city.nantan.kyoto.jp)

URL <http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/resource/nougyou.html>



## 強くなれ農業委員会



農業委員会  
会長

野中 一二三

7月6日開催の南丹市農業委員会総会において、引き続き会長を皆様より賜りました。

今ほど、日本の農業について根本的な対応をしない限り、将来、日本人の主食である「お米」が不足する時が必ず来るといえます。委員一人ひとりが自分の家庭を含め、周辺を点検していただくことをお願いしたい。

果たして、あなたのお子さんやお孫さんが引き続き農地を守っていただけるでしょうか。私自体、子どもが引き継いでくれる保証はありません。今こそ、地域で農業組織を作り（すでに組織が作られているところもあります）農地の集約化と法人化の取り組みをしていただくことをお願いしたい。法人化については、南丹市農業委員会としてもお手伝いするよう、努力いたします。

みなで、次の項目について点検をお願いしたいと思います。

第1は、周辺に放置農地はないか。あれば、なぜ耕作はされていないのか。また、耕作できないのかを

明確にする。

第2は、この農地は地元の組合等に預けていただく。（しかし、あくまで無償で）

第3は、放置農地を耕作農地にする費用の負担をいただくこと。

第4は、どうしても費用の負担ができないなら、この農地を地元の組合等に寄付していただくこと。

何はともあれ、我々は農地を守り、次の世代へ優良農地を引き継ぐ責任を果たさねばならないと思います。

国や京都府農業会議におかれても、  
①京力農場プランと農業委員会の取り組み

②地域の農地と担い手を守り活かす運動

③遊休農地対策等

多くの提案をいただいています。私達は地域になじむ施策以外取組むことができません。

委員の皆様には、それぞれの地域で一枚たりとも放置農地を「出さない、させない」の誓いをお願いしたいと存じます。

もう2か月もすれば実りの秋を迎えます。本年度が30kg玄米で7000円程度では引き取りいただくように、JA京都に強く要望できる南丹市農業委員会であるよう、万人の努力をすることを誓い申し上げます。ご挨拶いたします。

## 農業委員の役割増大



農業委員会  
会長職務代理

大沢 泰一

農業委員改選後の総会において、会長職務代理という大役を引き続き務めることになりました。皆様のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、日本全国で水源の確保を目的に外国資本による森林買収が問題視されています。

自然のわき水は農業用水としても利用されており、こうしたことから各県で水源地保護条例の制定に向けて動いています。南丹市も例外ではなく、とりわけ、過疎化が進行すれば農業・農村を誰が守るのかという問題につけ込んで外国資本が入ってきます。

本年・来年の2年で「人・農地プラン」づくりが始まります。この機会に中山間地域が多い府内では「担い手がない」「集落営農をしようにも土地利用型作物だけでは採算が合わない」といった集落が多いことから、地域で徹底して話し合い、米以外の作物の導入計画や販売方法も取り入れ、地域農業の将来像を定め

るプランづくりが大切な取り組みと  
思います。農業委員としても、特色  
ある将来像に共に知恵を出し合うこ  
とが、大変重要な役割だと考えてい  
ます。

昨年の東日本大震災は、東日本に  
甚大な被害をもたらし、多くの尊い  
命が奪われました。また、福島第1  
原子力発電所放射能漏れ事故によ  
り、原発から20km圏内の避難退避  
を余儀なくされた方々を含め、避難  
者は全国各地に30万人以上とも言わ  
れております。南丹市農業委員会は  
有志団を結成し、少しでも手助けが  
したいという思いから、会津美里町  
の避難所に、京都産の食材を使った  
食事を提供してきました。帰り際に  
避難者全員に見送られ、掛ける言葉  
はどうしても「頑張ってや」になり  
ました。できる限りの支援を今後も  
続けていきたいと思っております。

農家の皆様の期待に添える農業委  
員会を目指し、ご挨拶いたします。

# 新しい農業委員会がスタートしました

がんばる農業委員37名です。よろしくお願いします！

## 八木町出身委員



小川 幸雄



平井 一三



明田 喜久



浅田 均



波部 良典



人見 保夫



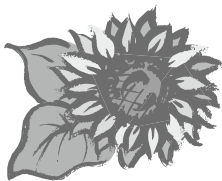
廣瀬 隆夫



松本 國夫



谷口 英彦



市原 松司

## 園部町出身委員



野村 健



中西 章夫



野中 一三



澤田 肇



野中 好



奥村 安治



藤田 瑞穂



原田 均



角 覺



河村 明義



下間 久子



中 利一

## 美山町出身委員



林 昭男



上田 純二



中野 貞一



太田 行雄



谷本みどり



東 伊三生



長野 敏



梅津 義明

## 日吉町出身委員



中川 輝男



塩貝 孝司



大沢 泰一



村瀬 敏一



小林 利治



田中 保雄



吉田 陽子





「楽生会」メンバーによる作業

# 地域農業を支える

## あの人この団体!

地域農業の再生を目指して、人と農地をテーマに、個人やグループで力強く農業を営む農業者シリーズを掲載します。今回は、「荒廃農地の再生」をテーマに地域の壮年層が立ち上がった、生畑地域で活動する「楽生会」を紹介します。

(取材：吉田陽子委員)

### 荒廃農地よ、よみがえれ

楽生会

代表 船越 清助さん

日吉町生畑地区の中心部に、約80<sup>ルー</sup>ほどの団地が荒廃農地となっている状況がありました。

集落の中心部だけに、このままでは集落全体の農地が荒廃していくような心配がありました。

「何とかしなければ」という思いはありましたが、獣害対策が十分でなく、誰も手が出せない状況でした。

そこで、集落内で相談し、集落の事業として、団地内の不十分な部分の獣害対策を行うことになりました。

その結果、荒廃農地が耕作可能となりましたが、次の課題は誰が耕作するかでした。

すると、集落の壮年層9人が手を挙げ、耕作者集団を形成し、名称を「楽生会」としました。

次の問題は、約80<sup>ルー</sup>の農地に何を作付けするかです。資金はゼロからのスタートで、農機具は手持ちのものを使用したとしても、肥料代・種子代（苗代）がかかりました。

そこで、耕作者集団を、「米作部会」「野菜部会」「黒豆部会」に分け、部会員が出資金を出し合い、肥料代・種子代（苗代）を確保し、作業に取り掛かりました。

今は、黒豆を28<sup>ルー</sup>、野菜を22<sup>ルー</sup>、水稲を30<sup>ルー</sup>作付けしています。

作業は、基本的に部会ごとに行います。しかし、黒豆の植え付けや土寄せなどの大変な作業は、他の部会員も応援することになっています。

取り組みは始まったばかりで、荒廃農地に作物の作付けは完了しましたが、収穫後のことは、ただいま相談中という状況で、しかも、今年だけでなく、来年以降も再生可能な状況を築く必要があり、今後の課題は山積んでいます。

ただ、構成員の思いは、「荒廃農地よ、よみがえれ！」だけで、損得抜きでの取り組みとなっています。



野菜部会成果の品々

特に野菜部会は、素人集団と資金不足で、成果品は「虫食い」「不揃い」ばかりで、他のところに出荷できる状況ではありませんが、皆さんが協力的で、野菜部販売所に収穫した野菜を並べておくと、少々、虫が食っていいようが、形が悪かろうが、買っていただいております。こういう面からの支えがあり、まさに集落全体で、荒廃農地の再生に取り組んでいる状況がうかがえます。

また、「自分ところでは食べきれない」からと、野菜部販売所に野菜の無償提供もあり、こういう面からも、取り組みは楽しいものとなっています。

集落内には、まだまだ未作付けの農地が存在しており、この取り組みが、何らかの「きっかけ」になれば、と思っているところです。



給食、おいしいよ！好き嫌いをなくすぞ～！



## 食を支える

### あの人この団体！

南丹市農業委員会は、農業の果たす役割と、食の大切さを多くの市民の方に知っていただくために、食と農業に係わる人や団体のシリーズを掲載しています。

(取材:吉田陽子委員・下間久子委員)

#### ◆◆◆ 地元の食材で子ども達を元気に ◆◆◆

南丹市立殿田小学校

栄養教諭 山本久美子さん

日吉町の学校給食共同調理場では、地産地消に積極的に取り組んでいます。旬の野菜や、しいたけ、豚肉は、日吉町でとれたものを使っています。新鮮で良い品質のものを納入してくださるので、とてもありがたいと思っています。

子どもたちは給食配膳室に来ると、まず盛り付け見本のショーケースをのぞきます。好きなものがある「やった、おいしそう！」、嫌いなものがあると「え〜食べられへんかも・・・」と、思い思いの声をあげています。誰しも好き嫌いはありますから、学校給食では嫌いなものをどう克服するかが大切な課題になります。そこで地元・日吉町でとれた食べものを使っていることが、大きな力になっていると感じます。



心をこめて手作りハンバーグを作っています

しいたけが苦手な児童は、総合の学習の時間の中で日吉町内のしいたけ農家の見学に行き、しいたけの話や農家の話を聞きました。給食のしいたけがそこで作られていると知り、それ以来、苦手だけど頑張つて食べようという気持ちを持つことができました。作っている人と直接顔を見合わせて話をすることが、子ども達の心に響いたのだと思います。

地元で育った野菜であること、顔の見える人が作った野菜であることが、子ども達の心に素晴らしい影響を与えているエピソードです。届けてくださった新鮮でおいしい食べものを、おいしさはそのままだに、安全に子どもたちに届けるのが、私たち調理場職員の使命だと考えています。大量調理は常に食中毒の危険と隣り合わせですから、食中毒を防ぐために、調理場では様々な工夫をしています。加熱していかないものは出さないのが原則。土物の野菜は3回、葉物の野菜は4回、流水しながら洗います。加熱する時には必ず85℃を超えていることを確認し、記録をとります。二次汚染を防ぐために、生肉・生魚と野菜等の食材が接触しないよう作業動線を決めます。安全を確保するために、作業の上で大変なことも多くありますが、私たち自身も地元の食材から元気をもらって、子ども達のために毎日頑張ることが出来ます。

豊かな自然に恵まれた日吉町で作られた食べものが、子ども達の体と心にいきわたり、将来を元気に生き抜いていく力を育んでいくと信じ、これからも献立や調理の工夫、指導の工夫をしていきたいと思っています。

#### ♪取材メモ♪

日吉町の2つの小学校の275食分の食材を、野菜はもとより、豆腐や油揚げなども地元産を使用し、作っておられることに感心しました。



# 担当地区一覽

園 部 町					
役 職	委員名	住 所	担 当 地 区	電話番号	所 属
会 長	野中一二三	園部町城南町	—	62-0522	農地部会
	中面 章夫	園部町仁江	大西、船阪、仁江、竹井	63-0736	農政部会
農政副部会長	野村 健	園部町越方	高屋、大戸、熊原、佐切、越方	62-3586	農政部会
	奥村 安治	園部町南大谷	殿谷、埴生、南大谷、若森	65-0774	農地部会
	野中 好	園部町城南町	元町、小山東町、小山西町、栄町、美園町、小桜町、城南町	62-0660	農地部会
	澤田 肇	園部町千妻	千妻、曾我谷、内林町、木崎町	62-1185	農地部会
	角 覺	園部町穴人	半田、口人、口司、穴人	62-2585	農政部会
	原田 均	園部町南八田	法京、大河内	65-0605	農政部会
	藤田 瑞穂	園部町上木崎町	瓜生野、熊崎、新堂、上木崎町、河原町	62-3029	農政部会
	中 利一	園部町黒田	横田、黒田	62-2525	農地部会
	下間 久子	園部町南八田	天引、南八田	65-0573	農政部会
	河村 明義	園部町船岡	船岡	62-1988	農政部会
八 木 町					
役 職	委員名	住 所	担 当 地 区	電話番号	所 属
	明田 喜久	八木町諸畑	諸畑、野条、池上	42-2792	農政部会
農地部会長	平井 一三	八木町北屋賀	屋賀、北屋賀	42-3121	農地部会
	小川 幸雄	八木町神吉	神吉	44-0169	農地部会
	人見 保夫	八木町氷所	青戸、氷所	42-3408	農地部会
	波部 良典	八木町八木	八木、柴山	42-3622	農地部会
	浅田 均	八木町日置	刑部、北廣瀬、日置	42-2739	農政部会
	谷口 英彦	八木町西田	観音寺、西田	42-3990	農政部会
	松本 國夫	八木町山室	船枝、山室、室橋	42-3125	農政部会
	廣瀬 隆夫	八木町南広瀬	南廣瀬、大藪、八木嶋	42-2885	農地部会
	市原 松司	八木町室河原	鳥羽、玉ノ井、美里、室河原、木原、池ノ内	42-3284	農政部会
日 吉 町					
役 職	委員名	住 所	担 当 地 区	電話番号	所 属
会長職務代理	大沢 泰一	日吉町田原	田原(彰徳・興風・和田・新シ・片野)	73-0123	農政部会
	塩貝 孝司	日吉町胡麻	胡麻	74-0557	農地部会
農地副部会長	中川 輝男	日吉町中世木	中世木、生畑、木住、中、天若	72-0805	農地部会
	田中 保雄	日吉町保野田	保野田、志和賀	72-0647	農政部会
	小林 利治	日吉町四ツ谷	四ツ谷、佐々江	73-0041	農地部会
	村瀬 敏一	日吉町畑郷	上胡麻、畑郷	74-0931	農地部会
	吉田 陽子	日吉町殿田	殿田、田原(田原駅前)	72-1078	農地部会
美 山 町					
役 職	委員名	住 所	担 当 地 区	電話番号	所 属
	中野 貞一	美山町北	南、北、中、下、知見、内久保(小谷以北)	77-0505	農地部会
農政部会長	上田 純二	美山町鶴ヶ岡	鶴ヶ岡、盛郷、福居	76-0003	農政部会
	林 昭男	美山町原	原、板橋、宮脇、下吉田、長谷、島	75-1085	農地部会
	東 伊三生	美山町大野	上司、和泉、静原、萱野、大野	75-1290	農地部会
	谷本みどり	美山町豊郷	高野、豊郷	76-0712	農地部会
	太田 行雄	美山町又林	又林、下平屋、上平屋、安掛、野添、長尾、深見、荒倉、内久保(上カルノ以南)	75-1131	農地部会
	梅津 義明	美山町小淵	三埜、脇谷、小淵、向山、檜原、音海	75-1223	農政部会
	長野 敏	美山町河内谷	河内谷、江和、田歌、芦生、白石、佐々里	77-0627	農政部会

はじめまして!



5.2ヘクタールの水稲農家であり、農地法も勉強して荒廃農地のない田園風景の広がる南丹市を目標に取り組んでいきたい。

中西 章夫

退職して2年。家族が食してくれることを喜びとし日々、米・野菜作りを楽しんでおります。今回役務をいただき、お力添えいただいた皆様に応えられるよう、任務を全うしたいと思います。

明田 喜久

# 新任委員の一言アピール

担当地区は市街化区域が多くを占めます。「調和ある地域農業の持続的発展」のため、努力いたします。

波部 良典

農業者の高齢化、若い世代の農村離れ、耕作放棄地の増加等々、大変厳しい現状ですが、少しでも良い状態で次の世代に引き継げるよう、微力ながら頑張ります。

角 覺

美山の山奥、一軒家で電柵に囲まれた中でお米を作っています。きれいな「水」だけが自慢ですが、いつまでも守っていきたくたいです。

谷本みどり

故郷の整備された田畑を、荒廃させることなく、次世代に引き継ぐために地域力などを結集し、悔いの残らないように、日々全力で活動に仕事に頑張っていきたい。

奥村 安治

家は専業農家です。栽培する楽しさ、収穫する喜びを忘れず、地域農業の発展のため頑張りたいと思います。

下間 久子

私の担当する地域は過疎化が進み、限界集落及び準限界集落の中にあつて、将来、農地を守っていくには課題が山積ですが、地域の皆さんと共に知恵を出し合つて克服したいと思っています。

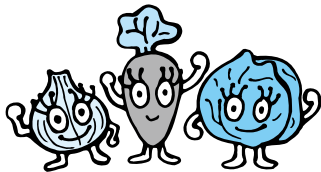
長野 敏

少し年を取った新人です。以前に茄子の出荷をしていたこともありますが、今は5反弱の稲作のみです。獣害(鹿)には困っています。

藤田 瑞穂

趣味は鮎釣りです。良い川、水を作ろうと思えば良い農地、良い山林を作ることだと思って頑張っています。よろしくをお願いします。

太田 行雄



南丹地域のみにとらわれるのではなく、広い視野で、できることをコツコツと、地道に進めていきたいと思っています。

市原 松司

農作業を趣味と思い、急傾斜の草刈に汗を流している毎日です。委員として皆様のお役に立てるよう頑張ります。

村瀬 敏一

販売を目的として野菜を作付しています。販売は主に直売所で行っています。低農業による安心・安全の食作りにも努めています。

松本 國夫

## ～平成24年度 活動方針～

### 農地部会

農業委員の日常活動により、担い手への農地利用集積を進めるとともに、関係団体・機関と連携した農地パトロールや耕作放棄地全体調査を実施し、農業者の農地に対する意識の向上を目指し、耕作放棄地や違反転用の早期発見とそれらに対する迅速な指導を行う。

また、多様な担い手など新たな農業者の参入等の推進を図りつつ、地域の特色を活かした農地の保全・有効利用を推進し、優良農地の確保に努める。

### 農政部会

本市の基幹産業である農業が、やりがいと魅力のある産業として持続的な維持・発展を遂げていくことができるよう、農業団体、認定農業者、農業生産法人との交流により意見・要望などを収集し、地域農業の振興・農業経営の改善のための建議や、さらには具体的施策の提案を行うなどして、その実現に向けて積極的に活動する。

### 広報委員会

南丹市内の農業に関わる優良、特色ある取り組みを紹介し、取組者本人の意欲向上に繋げるとともに、農家だけでなく、非農家も含めた市民にも、ふるさとへの誇りと愛着を育むことを目的に、農業委員会だより「なんとん」の年3回の発行を基本とする。

また、積極的に広報研修等を行いわかり易い紙面づくりに努めるとともに、一年を通じて広報委員会活動を行い、地域の情報通信員的な役割を担いつつ、市域だけではなく、市外に対しても農業に関する幅広い情報を提供することに努める。

なんたん

# あっちこっち

とにかく広い南丹市。

南丹市のあちらこちらでは、その地域ならではの面白く、楽しい、また興味深い取り組みがされています。

そんな南丹市の、あっちこっちのできごとを紹介します。



(取材 澤田 肇委員)

園部町口司では、毎年7月にこの行事が行われます。夕闇のせまる頃、氏子たちは地元の鏡神社へ参拝し、五穀豊穡、家内平穏を祈願します。その後、御神火をいただき、大きな松明に分火し、田の周りを周回して、火に集まる稲の害虫(主にニカメイチュウ)の駆除を行います。数少ない貴重な伝統行事です。未永く続けていただきたいものです。



虫送り



(取材 梅津 義明委員)

地域における農地・水などの資源や環境が担っている役割を認識し、農地・水対策や中山間地制度を有効かつ大切に、しっかり活用して、自然環境を守りましょう。



環境整備と水質保全



## お知らせ

### 農地の賃借料情報

平成23年1月から12月までに締結された南丹市の農地の賃借料水準は次のとおりです。農地の賃貸借契約の目安として活用してください。

なお、データがなかったものや少数のものは示していません。

## 田(水稻)の部

(単位:円/10アール、筆)

地域区分		平均額	最高額	最低額	賃借データ数	使用賃借データ数
市街化区域	園部・八木地域	—	—	—	0	4
市街化区域 以外の地域	園部・八木地域	5,800	10,000	2,000	114	103
	日吉地域	6,100	9,200	2,000	31	140
	美山地域	—	—	—	2	53
(参考) 南丹市平均		5,800			147	300

## 畑(普通畑)の部

(単位:円/10アール、筆)

平均額	最高額	最低額	賃借データ数	使用賃借データ数
—	—	—	0	0
6,000	6,000	6,000	5	0
—	—	—	2	13
—	—	—	0	2
7,100			7	15

## 編集後記

表紙の写真は、平屋小学校の皆さんによる笹飾りの様子を投稿していただきました。大変短い編集期間にもかかわらず、多くの方にご協力をいただき、ありがとうございました。(広報委員長 梅津 義明)

## 野菜が苦手な子どもも大満足!

### ☆夏野菜カレー☆

夏バテで食欲のおちる時季に、栄養満点の夏野菜カレーをどうぞ!

【材 料】1人分 牛肉30g・人参16g・ベーコン3g・にんにく0.3g・土生姜0.5g・サラダ油2g・かぼちゃ28g  
 トマト11g・ピーマン12g・なす11g・玉ねぎ32g・ソース2g・トマトケチャップ3g  
 バーモンドカレー8g・ジャワカレー2g・純カレー粉0.2g・水60CC

#### 【作り方】

- ①油を熱し、みじん切りした、にんにく、生姜を炒め、牛肉とベーコンも炒める。
- ②乱切りした人参と色紙切りした玉ねぎも加えて炒め、水を加えて煮る。
- ③角切りしたかぼちゃ、トマトを加える。
- ④カレールー他で味付けし、角切りしたなすと色紙切りしたピーマンを加える。

殿田小学校栄養教諭 山本久美子さん提供レシピ

